

特集 子ども議会 P2~5

大熊町子ども議会

みんなの GOKKA

町に届け!
私たちの想い

おおくま議会だより第75号
2025年(令和7年)11月1日発行

写真:子ども議会。関連記事→P2~5に掲載



次代を担う子ども議会が

町の未来を語る



未来を担う子どもたちに議会の仕組みや、まちづくりに関心と理解を深めてもらうことを目的に、10月8日（水）子ども議会が開催されました。

学び舎ゆめの森7年生～9年生5名が、それぞれの想いや自身の考えを定例会本番ながらの一般質問を模擬体験しました。子どもたちの柔軟かつ積極的な質問内容を紹介します。



なかがわ こうた 議員
中川 光太 議員

デマンドタクシーの運行について

大熊町には循環バスのほかに、デマンドタクシーが運行されています。2024年8月から運行が始まり、今年度からは週6日利用でき、より使いやすくなりました。

しかし、夕方の時間帯が利用できない不便さも残っていると感じます。

デマンドタクシーは、大川原地区と大野地区や特定帰還居住区域と生活施設を結ぶ大切な交通手段であります。これまでの利用状況、また今後利用者を増やすためのPRや取り組み、さらに利用者が増えた場合には台数や運行時間を増やすなど、どのような対応を予定しているのかをお聞かせください。

町長 デマンドタクシーは生活循環バスではカバーしきれない地域交通の隙間を埋めることを目的に運行しています。

今後は利用者の増加が見込まれることから、利用者を対象としたアンケートの結果も踏まえながら運行台数の見直しや利用時間帯の拡大など、運行体制の見直しについて検討します。

大熊町循環バスの運行について

最近、大熊町循環バスの利用者が増えています。令和7年度は8月までにすでに4,533人となり半年ほどで昨年度の人数を上回っています。

令和8年10月にはスーパーマルトが開店する予定で、さらに多くの方が買い物のために循環バスを利用すると考えられます。

利用者が増えたときには、バスの本数を増やしたり、大きなバスに変えたりすることが必要だと思います。

マルトがオープンしたあと、利用者の増加に合わせてバスの運行本数やバスのサイズを変えるなど、運行改善の計画はありますか。



すがなみ るな 瑠那 議員
菅波 瑠那 議員

町長 生活循環バスはCREVAおおくまやクマSUNテラスなど駅前施設の利用者が増加し、循環バスの利用者は年々増加しています。

来年10月にはスーパーマルト大熊店が開業し、今後ますます増加することが見込まれます。バスの運行体制については早急に対策を講じる予定です。具体的には、29人乗りのバスを新たに購入します。バスの増便については、JRのダイヤ改正状況と利用者アンケートの結果を踏まえ検討します。

お店の誘致について

町にはlinkる大熊やクマSUNテラス、CREVAおおくまなど町が管理する施設があり、飲食店やコンビニなどのお店も入っています。さらに、令和8年度にはスーパーマルトもオープンする予定で、住みやすい町に近づいていると思います。

大熊町は移住支援が充実していますが、企業に対しての支援について今後新しい制度が始まる予定はありますか。またその場合はどのような制度を考えているのか教えてください。



さいとう 齊藤 ここな 心奈 議員

町長 町では、事業者を支援するための補助金を5つ取り揃えています。

まずはすでにある補助金の制度について、より多くの方に活用してもらいたいと思っています。

より使いやすい補助金にすることで、町内に多くお店を誘致していく、大熊町は住みやすい町と感じるような、まちづくりをしていきたいと思います。



うまく伝わったかなあ

道の駅の鉄道車両展示について

「ひたち」は長い間、常磐線を走り続け、多くの人の思い出をつくってきました。「ひたち」を展示すれば、鉄道ファンや観光客が訪れるきっかけとなり、町のにぎわいにつながると思います。効果として、観光客が増える、地元のお店の利用が広がり、町の収入や観光の魅力の高まりが期待できます。

常磐線が再開し、首都圏と仙台が直結したことは町民が復興を実感する大きな力となりました。

大熊町の新しい道の駅に「ひたち」車両を展示することを検討しているだけないでしょうか。



やの にれ 矢野 仁礼 議員

町長 常磐線を走っていた特急電車の車両を道の駅に展示し、観光客を増やすというアイデアはすばらしいものであると考えます。

道の駅には、農産物、屋外・屋内の遊具施設、飲食施設などを整備し、町外から多くの人を呼び込むためのものにしていきたいと考えています。

今回ご提案いただいた車両の展示については、設置や管理に関する費用がどのくらいかかるのか、車両の活用が出来るのかなどの調査をしてみたいと思います。



たけち ゆう
武智 優 議員

学校の増設について

ゆめの森のホームページには全校生徒の想定数は150人となっています。現在は94人で1年で約30人ずつ生徒が増えており、同じペースで増えると3年後には150人を超えると予想されます。

給食を食べるランチルームがすでにいっぱいになりつつあります。

ランチルームが満員の場合は別の教室を使う可能性があると教えていただきました。衛生的な観点から考えても、家庭科室を使う以外の工夫は難しいのではないでしょうか。

今後在籍する全校生徒の数が150人を超えた場合、校舎の活用や施設の整備についてどのように考えていますか。

町長 校舎は三角フレームの組み合わせで造られた余白のある構造で、設計上は150人を超えて対応できるようになっております。

ランチルーム以外で給食を食べる場合の衛生面は、学校側と協力し徹底していきます。

今後の学校増設につきましては、これから児童生徒数の増え方を見ながら、適切に判断していくと考えております。

＼議会と町を代表し議長・町長からの感想／



吉田 淳 町長

質問者は日ごろの生活や学校生活の中から色々なことに気づき、疑問を持ち、質問をしてくださいました。議会に臨む態度も立派でした。

これからも様々なことに興味を持ち、調べることを続けてほしいと思います。

誰も不思議に思わないことに、色々なヒントがあるのかもしれません。



仲野 剛 議長

子ども議員の皆さん

の質問はどれも素晴らしい、大人の議員も大変参考になりました。町の課題を的確に捉え、その背景や根拠となるデータをしっかりと調べての質問する姿には感心いたしました。

ぜひ今回の経験を、今後の人生に活かしていただきたいと思います。

子ども議会を傍聴してみて

子ども議員の堂々とした一般質問を頼もしさや緊張の思いで傍聴していた親御さんたちに感想を伺いました。

ヴィヴィエン・トドロヴァさん
(バサースト市からの留学生)
バサースト市では子どもが議会に出る機会はないので、とても興味深かったです。もし同じような機会があれば私もやってみたいと思います。

矢野 扶美さん

息子が一般質問を強く希望したようです。良い経験になったと思います。また町長からも素晴らしい道の駅にするという答弁をもらったことは、本人の大きな自信につながったと思います。

齊藤 勝喜子さん

一般質問の様子はとても緊張感が伝わってきました。学校でいつもなごやかに勉強しているので、子どもが意外とハッキリ話ができることにビックリしました。

出席議員紹介



私たちの議会はどうでしたか

【前列右から】

佐藤 翔和 議員

齊藤 心奈 議員

清水 生葉 議員

後藤 愛琉 議員

城間 結日 議員

齋藤 輝 議員

【後列右から】

武智 優 議員

中川 光太 議員

矢野 仁礼 議員

柏館 叶望 議員

菅波 瑞那 議員

中川 明都 議員

今回、町議会、町執行部の皆様には、事前準備も含め本気で生徒たちに向き合っていただきました。

生徒たちは、そうした皆様の思いを受け止め、時間をかけて全員で質問を磨き、町の課題や魅力についての視野を広げ、大人と同じ視点で悩み、考え、議場に立たせていただきました。

本議会の素晴らしい経験を通じて、生徒たちが「子ども」から「未来を担う若者」へ脱皮し、大きく成長したことに感動しています。

厚く御礼申し上げます。

学校を代表し南郷校長からの感想



南郷 市兵 校長

令和6年度決算認定

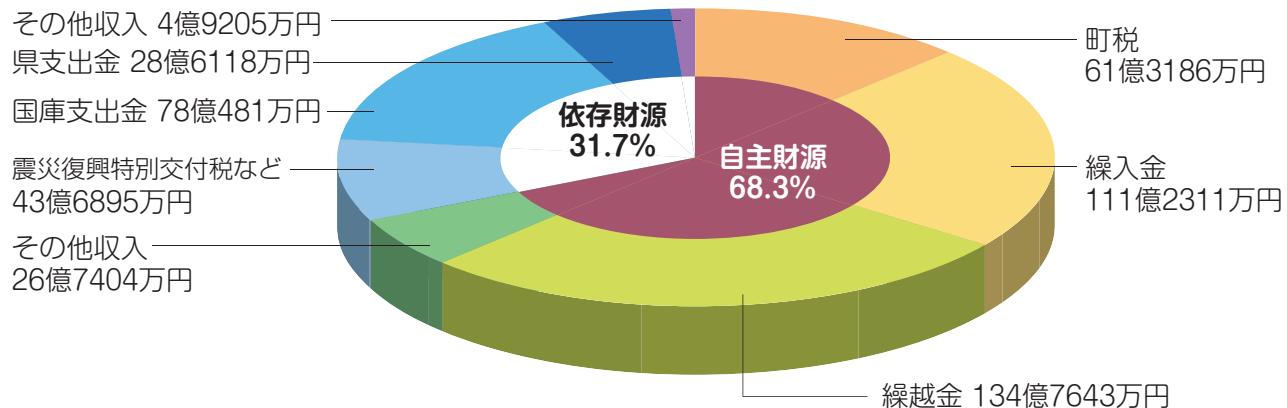
町から出たお金は424億円

令和7年第3回定例会は9月9日から18日までの10日間で開催されました。

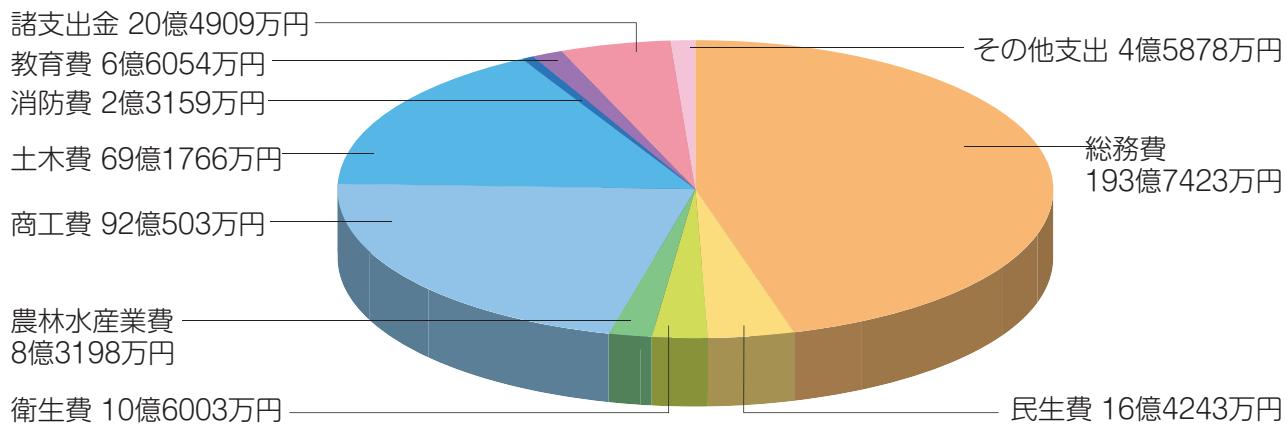
令和6年度一般会計および特別会計決算認定、令和7年度一般会計および特別会計補正予算など31議案が提案され、全議案とも原案通り可決しました。

今回の傍聴者は延べ32人でした。

入ったお金 489億3243万円



出たお金 424億3142万円



特別会計支出 決算合計額：68億1415万円

会計名	収入総額	支出総額
坂下ダム施設管理	8534万円	6528万円
国民健康保険	21億7906万円	20億8877万円
奨学資金貸与	911万円	896万円
環境保全公共下水道	2億3597万円	2億3597万円
農業集落排水	1億8141万円	1億8141万円

会計名	収入総額	支出総額
住宅団地造成	0円	0円
工業団地造成	31億7083万円	30億5999万円
介護保険・サービス事業	11億5437万円	11億1459万円
後期高齢者医療	4557万円	4514万円
霊園管理	1405万円	1404万円

(万円未満四捨五入)

ボタンひとつで命が救われる

第3回定例会にて令和6年度決算の審議を行いました。その中から主な質疑をお知らせします。

高齢者緊急通報システム

問 設置の目的は何か。

答 高齢者単身世帯で病気や事故、火災の際に本人がボタンを押すことにより救急車等を手配するシステムである。

問 機器の異常等の確認は実施しているのか。

答 毎週「お元気コール」で安否を確認し、併せて機器の動作確認もしている。

問 お元気コールに応答がない場合の対応はどうしているのか。

答 利用者と連絡が取れない場合には緊急通報協力員に訪問等を依頼し安否確認を実施している。

問 実績は確認しているのか。緊急通報の具体的な事例はあるのか。

答 事業者より毎月報告を受けている。

事例としては、夜中に体調不良になり通報ボタンを押して一命を取り止めたこともある。24時間対応で安心感があるとの意見をいただいている。

介護保険

問 国民健康保険の減免措置期間は決定しているが、介護保険の減免期間はあるのか。



ボタンが命の恩人に

答 国民健康保険の減免と同じである。

避難者コミュニティ

問 補助団体の一力所が解散との報告だが理由は何か。

答 高齢化に伴い役員のなり手不足と会計処理等の負担増加により団体の存続が困難になり解散となった。

生活循環バス

問 令和6年度の利用者数は。

答 延べ人数13,594人で一日平均36人の利用となった。

デマンドタクシー

問 令和6年8月から令和7年3月までの利用者は何人か。

答 昨年8月から週3日の運行で開始し、延べ445人の利用があった。

今年7月からは週6日（月～土）の運行となった。

ゼロカーボン補助

問 補助の実績は何件か。

答 総数は8件であり、内訳は省エネリフォーム2件、ZEH3件、ZEB1件、ZEH-M1件、緑化環境改善1件だった。

移住・定住支援センター

問 相談件数と移住者数は。

答 昨年度は窓口、電話、メール等で245件の相談があった。

就職や学び舎ゆめの森への転入など65人が移住した。

監査 報告

費用対効果を検証し経費削減を図り効率的な財政運営を 代表監査委員より決算および基金運用状況などの意見書が提出されました。 主な内容を報告します。

令和6年度末現在、財政調整基金が96億6144万円、その他目的基金約967億8664万円と健全な財政運営を進めていると言える。

歳入歳出においては、歳出が前年度と比較して増加している。今後も復興事業による経費が予想されるため、引き続き財源の確保や財政基盤の安定に努められたい。

各種補助金に関しては、真に必要な補助かどうか様々な面から検証する必要がある。適切な業務

の推進や事務処理の指導・監督を徹底し、緊密な連携を図るべきである。

基金については、設置された本来の目的を再確認し、活用可能な基金において積極的な活用を図り、住民サービスの向上へ反映されたい。

どのような状況下においても、健全な財政運営は自治体運営の要であり、引き続き費用対効果を検証するなかで経費削減を図り、効率的な財政運営を努められたい。



オープンが待ち遠しい

スーパー馬鹿
10月2日
オープン

令和8年

町民の皆さんが待ち望んでいたスーパーが来秋オープンすることが決りました。
オープンするのはスーパー馬鹿で、双葉地区への出店は初のこと。地元産の魚介類をはじめ様々な食品をそろえ、地域に愛される店づくりを目指します。

教育委員会委員に 渡部達也氏を再任

人事

教育委員会委員の任命について全会一致で同意しました。
田身 下野上原
任期 令和7年10月1日から4年間

町内居住者の増加によりバスを利用する人が増えています。このため乗車定員の多いバスを購入し、利用者の利便性を向上させるものです。

生活循環バス購入

ふれあい広場は遊戯施設や健康器具などを設置し、多様な人々の交流の場として整備します。広場利用者の利便性を考え、東屋やトイレ、駐車場なども整備します。

ふれあい広場整備

●町民の声
生鮮食品や日用品、医薬品などお買物環境が良くなることは嬉しいことです。
資源のリサイクルにも対応を希望しています。

大野病院の西側交差点 10月に通行可



第3回定例会にて令和7年度補正予算の審査をしました。
その中から主な質疑をお知らせします。

右回りに一方通行だよ

ゼロカーボン補助

問 補助金予算増額の理由は何か。

答 当初の想定以上にZEH等含む相談件数があつたため。

※信号機のない交通事故削減が期待される円形交差点

ラウンドアバウト

問 現在整備中だが完成、通行可能となるのはいつか。

答 大野病院の西側交差点は10月に通行可能となる。

下野上の五差路交差点は令和8年3月には通行可能となる。

が発生したため。

生きがい農業支援

問 支援事業の目的と補助額は何か。

答 個人で農業を再開する場合に機械購入費を支援する事業である。

補助額は対象経費の3/4で上限100万円としている。

日陰山登山道復旧調査

問 調査の目的は何か。

答 登山道は震災以降使えない状況であるため被害調査を実施する。

給食センター基盤整備

問 工事請負費の増額の理由は何か。

答 新たに構造物の撤去費用、水路の老朽化や耐荷重不足による水路の付け替え、水道管の接続工事費、堆積土砂処理費等に追加費用が発生したため。

町道63号線整備

問 道路整備と近隣の除染を同時に進めることが環境省と調整しているどうか。

答 環境省と連携して進めるとともに庁舎内でも情報共有し対応していく。

は。

今年は新たに2団体が設立し17団体となつた。

避難者コムニティ

問 現在の団体の件数

問 調査の目的は何か。

答 登山道は震災以降使えない状況であるため被害調査を実施する。

//町政を問う//

一般質問

定例会2日目は3名の議員が復興への課題をとらえて質問しました。

なお質問動画はQRコードからご覧になれます。



一般質問動画
視聴はこちら

給付型
奨学金

問 支給要件を緩和すべき

答 今年度中に見直しを進める



こわた
木幡ますみ 議員

木幡 1人でも多く給付型奨学金の支給を受けられるように、支給要件を緩和してはどうか。

町長 今年度中に支給要件の見直しを含めた制度改革ができるように準備を進めていく。

木幡 現在の7割以上の成績ではなく、学習意欲のある方に支給してはどうか。

町長 多面的な評価を取り入れた制度とすることで、多くの学生が支援を受けられるようにする。

グラウ
ンド整備

問 スマイルフィールドにナイター設備

答 利用者のニーズを踏まえながら検討

利用回数が低い原因の一つに、グラウンドに照明が無く夜間に利用しづらい状況が挙げられる。ナイター設備を設置すべきではない。

阿部 令和6年度のスマイルフィールド（インキュベーショングラウンド）の利用状況は、野球やソフトボールにおいてあまり利用されていない。



あべ みづくに 光國 議員

町長 ナイター設備を設置した場合、新たに施設導入費が必要となり、指定管理料および維持管理料についても増大する。

現時点においてナイター設備の設置は考えていない。ナイター設備のあるゆめの森グラウンドの活用や利用者のニーズを踏まえながら今後検討する。

学び舎
ゆめの森

問 防災・減災を学ぶカリキュラムを新設してはどうか

答 「学校設定科目」として積極的に推奨し、教育課程編成を支援していく



ちば ゆきお
千葉 幸生 議員

千葉 災害大国だからこそ、大熊町で学ぶ子どもたち全員が被災事実や避難経験を共有し、防災とは、減災とは、そして避難生活とは何かを学ぶ教科を、独自のカリキュラムとして新設してはどうか。

教育長 復興に今まさに取り組んでいる大熊町だからこそ、防災減災教育を通して子どもたちが「自らの命を守り、仲間と協力して生き抜く力」を育むことは重要である。「学校設定科目」として積極的に推奨し、教育課程編成を支援していく。

県外最終処分場候補地の選定 2035年目途に着実に進める

環境省は9月18日、県内除去土壌等の県外最終処分に向けた復興再生利用等に係る取り組み状況を報告。

政府一丸となって当面5年程度で主として取り組む基本方針について説明がありました。

説明要旨

県内で発生した除去土壌は、中間貯蔵開始後30年以内（2045年3月まで）に県外で最終処分を完了することが法律で定められています。

今回決定した基本方針は3本柱。官邸での利用の検討を始めとした復興再生利用の推進。再生利用に対する安心感や納得感を醸成する



県外への搬出はどこになるの

ため中間貯蔵施設など現場の見学会などを段階的に拡大。最終処分場の候補地選定に向けプロセスの具体化の検討を進めます。

候補地の選定はおおむね2035年を目途とし、県外最終処分の実現に向けた取り組みを着実に進めていきます。

問 除去土壌の再生利用について各省庁の敷地以外に自衛隊の演習場や滑走路などに利用できないか。

主な質疑 **答** 閣僚会議や新たに設置した有識者会議で検討していきたい。

問 取り組みについて有識者会議の議論など情報公開すべき。

答 動画などを通して情報公開していく。

ホテル誘致に動き出す

企画調整課より9月18日、大野駅西交流エリアへのホテル誘致について説明がありました。

説明要旨

立地場所は商業施設クマSUNテラスの南側敷地で面積は1㌶。条件設定のため複数のホテルにヒアリングを行っています。



この敷地がやがてホテルに

12月に募集要項を公表し公募。参加表明からプレゼン、審査まで約2ヶ月間を想定しています。

近くに民間のオフィスビルの誘致も図っていきます。

主な質疑 **問** 候補地は産業交流施設（CREVAおおくま）や社会教育複合施設整備のための駐車場になっているが、支障はないのか。

答 利用している370台を確保できるよう代替地の調整をしている。

おおくま議会だより

No.75

R 7. 11

■発行／福島県大熊町議会

〒979-11306 大熊町大川原字南平17717

TEL 0240-23-7840

■編集／大熊町議会広報公聴委員会



令和4年に消防団を再編し、10名の女性消防団員は機能別団員として活動しています。

主な活動は検閲式や3.11のつどいで演奏する音楽隊、火災予防のための広報活動、そして災害時のための後方支援を行っています。



音楽で活動を支えます



議会だより「おおくま」の題字は、町民から応募のあつた作品を順次掲載してきました。

74号からリニューアルしたため、お二人の作品が未掲載となりました。そのため今号で作品を紹介させていただきます。

応募して下さった20人の皆さんに感謝申し上げます。

おおくま

西山 陽莉さん（夫沢）

おおくま

吉田 遙さん（野上）

傍聴してみませんか

12月定例会は10日からの予定です

発行責任者 委 副 委 員
委 員 長
仲 廣 阿 武 石 渡 島 渡
野 嶋 部 内 井 部 原 辺
公 光 正 和 友 健
剛 治 國 則 弘 彦 郎 誠

広報公聴常任委員会

人の生徒が一般質問をするのを
実際に議場に立ち、教育環境
や将来の町づくりに対し、子
どもの目線で質問や提案をする
姿を見て感心しました。

一般質問するまでには、いろ
いろと調べたり周りの人にアド
バイスをもらつたり大変なご苦
労があつたと思います。お疲れ
様でした。

将来、この子どもたちがこれ
からの社会を担っていくことを
考えるととても頼もしく思います。お疲れ
様でした。

編集後記

今回はじめて子ども議会で5
人の生徒が一般質問をするのを
傍聴しました。